

参加者のコメント 「まちで楽しむ」の参加者から色々な感想が寄せられました。

来場者

- ・これからも学生の実行委員の主導で頑張ってほしい。
- ・地域で活動している学生と話ことができ良かった。
- ・同様のイベントがあったらまた参加してみたいと思った。
- ・学生の発表を通じて地域を知ることができて良かった。

学生団体

- ・後輩にも「まちで楽しむ」を引き継いでいきたい。
- ・学生が市内の他の学校の学生や市民と関わるができる機会は貴重だと思った。
- ・終了時刻が過ぎていたので、時間どおりの進行をお願いしたい。
- ・ディスカッションの発表については何を発表すればよいか分からなかった。
- ・プレゼンテーションの経験を積むことができた。
- ・地域を知ることができ良かった。
- ・他の学生団体と繋がることができ良かった。

「まちで楽しむ5」に参加した学生団体より

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科
3年空間構成III けやきチーム / 瀧春香

私たちは、美大ならではのものづくりの力・表現する力で、小平市の障害者週間を盛り上げる活動をしました。イベントでは、主な活動内容である作品展の広報活動やワークショップの企画について発表しました。「まちで楽しむ」での発表は、これまでの活動を改めて振り返り、言葉にするきっかけになりました。「まちで楽しむ5」では、プレゼンテーションがポスターセッション形式だったため、来場者の方に発表やパネル展示を見ていただき、その反応を間近で知れたことが、またとない貴重な機会となりました。



実行委員長のコメント

嘉悦大学ビジネス創造学部4年 吾妻芳明

「まちで楽しむ」の実行委員を務めて感じたことは、人との出会いやつながりは活動を活性化させたり、視野を広げるためにはとても大切だということです。他大学の方との出会いや、活動を聞くことは私にとっても良い刺激になりました。例えば、武蔵野美術大学の学生の話聞いて、「作品を作る想い」を強く感じました。また、白梅学園大学の学生の話聞いて、「生活の基盤を作る上で人の気持ちや状況などを良く考えている」と感じ、考えさせられました。

今後もまちで楽しむに参加した人たちが1日だけの交流・体験にとどまらずに、人との「つながり」を作ったり、何らかの「行動」するきっかけにしていだければと思います。



まちで 楽しむ

小平を主な拠点に活動している学生たちが活動内容を発表したり、他大学の学生や地域の方々とディスカッションを通じてふれあうイベント「まちで楽しむ」。今回の冊子では、これまでの活動内容を振り返りご紹介いたします。

- もくじ -

まちで楽しむとは？ p.2-3

まちで楽しむ6のイベントレポート p.4-5

まちで楽しむ6の出展団体 p.6-7

参加者のコメント p.8

報告冊子



「まちで楽しむ」とは？

平成25年3月18日、小平市と小平市内の大学が、地域社会の発展と人材の育成を目的とした連携を進めるため、小平市大学連携協議会（愛称：こだいらブルーベリーリーグ）を設立しました。平成31年3月現在で、7つの大学等（嘉悦大学、白梅学園大学・白梅学園短期大学、津田塾大学、一橋大学、文化学園大学、武蔵野美術大学、職業能力開発総合大学校）が加入しています。こだいらブルーベリーリーグ最大の事業は学生の地域に関する活動を応援し大学の枠を超え学生と地域をつなぐイベント「まちで楽しむ」です。平成25年5月に第1回目を開催して以来、年に1回のペースで、毎年5月に開催しています。



「まちで楽しむ」の魅力

「まちで楽しむ」は、こだいらブルーベリーリーグの大学のさまざまな学生団体が一堂に会します。日頃の活動を知り、特色の異なる大学同士の交流、学生と市民団体との交流を気軽に行うことができる点が最大の魅力です。また、学生が発信するだけでなく、参加した大人たちと本音で語り合うディスカッションの時間も大きな魅力となっています。



「まちで楽しむ」の歴史

平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
START			大幅刷新!		NEXT

「まちで楽しむ」は、こだいらブルーベリーリーグを構成する大学の学生による地域活性化を目指す「まちで楽しむプロモーション」として、「地域の活動」について学生が熱く語るプレゼンテーション大会です。市内の企業や市民の方々に、地域を拠点にする学生たちを知っていただき交流を深めることを目的に、平成25年にルネこだいらのレセプションホールにて開催されました。第1回から第3回は、企業人が職業を通じて社会貢献を行う国際ロータリー東京小平ロータリークラブの協力のもと、同クラブが提唱する嘉悦大学の学生サークル「嘉悦大学ローターアクトクラブ」が中心となり、企画運営に当たりました。第4回（平成28年）からは、各大学の学生たちが交流の意義を本音で語り合う学生実行委員会をつくり、内容を大幅に刷新しました。大きな変更点としては、開催会場をこれまでのルネこだいらから大学に、開催日程を

平日夕方から日曜日にした点です。また、今までは学生の活動発表の後、立食形式の自由歓談を行ってききましたが、学生と市民が本音で語り交流することを追求し、自由歓談からワークショップスタイルのグループディスカッションにしようと考え、第一部を活動事例プレゼンテーション、第二部を学生・市民・行政職員によるグループディスカッションという構成に変更しました。ディスカッションのファシリテーターを実行委員が務め、「小平の未来」について意見交換を行いました。第5回（平成29年）からは、発表者とそれを聞く人の距離を近づけたいと学生実行委員会が提案し、第一部の活動事例プレゼンテーションをポスターセッション形式に改善しました。第6回（平成30年）では、企画やプレゼンテーション、ディスカッション以外の分野でも学生団体が活躍し、まちで楽しむは年々形を変えてその魅力を増えています。



「まちで楽しむ4」の参加団体
小平六中看板プロジェクト（武）/文化学園大学栗山ゼミ（文）/チカスユニダス（津）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成III（武）/出版ゼミ（嘉）/ブランドゼミ（嘉）/旅するムサビプロジェクト（武）/視覚伝達デザイン学科3年環境クラス十二小チーム（武）/福島復興支援ツアー（白）/白梅子育て広場（白）/和泉ゼミ（嘉）/ISDAK（一）/視覚伝達デザイン学科3年環境クラス図書館チーム（武）/視覚伝達デザイン学科3年環境クラスけやきチーム（武）/小平アートサイト（武）/ぼうさいクエストの会（武）



「まちで楽しむ5」の参加団体
嘉悦大学和泉ゼミと仲間たち2016（嘉）/武蔵野美術大学GDIワークショップ（武）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成III十二小チーム（武）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成III図書館チーム（武）/白梅子育て広場（白）/チカスユニダス（津）/ウィンドウディスプレイ（武）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成IIIけやきチーム（武）/ブランドビジネス（嘉）/文化学園大学栗山ゼミ（文）/職業能力開発総合大学校（職）/武蔵野美術大学有志（武）



「まちで楽しむ6」の参加団体
文化学園大学栗山ゼミ（文）/職業能力開発総合大学校ロボット部（職）/福島復興支援ツアー2017（武）/武蔵野美術大学有志（武）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成IIIけやきチーム（武）/小平アートプロジェクト（武）/視覚伝達デザイン学科3年空間構成III図書館チーム（武）/嘉悦大学イベント施行部（嘉）/白梅子育て広場（白）/チカスユニダス（津）/アトリエちびくろ（武）/芸術祭執行部企画部（武）/みんなでつくる音楽祭In小平（白）/上宿xムサビキャラクター制作委員会（武）/津田塾大学放送研究会（津）

「まちで楽しむ6」 イベントレポート

まちで楽しむ6ー学生がつくるまち小平ー
日時：2018年5月20日(日) 13:00～17:00
会場：武蔵野美術大学 12号館 8階第1会議室

6回目となった2018年度は、「地域で活動する学生を知り、繋がる」ことをメインテーマに、小平の大学の学生と市民がそれぞれ意見を交換し、「学生とまちづくり」について考えました。

開会式



挨拶

実行委員長の嘉悦大学吾妻芳明さんの挨拶でスタート。司会は津田塾大学放送研究会です。会場となった武蔵野美術大学12号館の8階からは東の端の電波塔(通称田無タワー)から西側のクリーンセンターの煙突まで、小平市が一望できました。会場設営のため午前中から準備をしていた学生たちも、しばし窓の外の景色を堪能しました。

事例発表と意見交換

1つのブースに1つの学生団体の活動事例が展示され、ブース内で発表する学生を囲みプレゼンテーションをすすめるポスターセッション形式です。活動の内容をパソコンで見せたり、制作した実物にさわってもらったり、色々な工夫をして発表し、質問や意見などが熱心に交わされました。今回、市民も学生もいっしょに活動する「みんなでつくる音楽祭 in 小平」の実行委員会事例を学生が発表したことが印象的でした。



第1部 学生によるプレゼンテーション



第2部 学生と市民によるディスカッション

テーマ「成長のカギを探る」

学生団体と市民がひとつのグループになって自己紹介。第1部のプレゼンテーションで活動内容をお互いに聞きあっていたので和やかに始まりました。

お互いの共通点を3つと、他の団体にあって自分たちにはないもの+他の団体になくて自分たちにあるものを探し、そこから、「成長のカギ」について考えました。



最後に、各グループがディスカッションの内容を発表しました。「成長のカギ」として、第三者の意見、新しいことへの挑戦、情報の引継ぎ、リサーチ、関係とコトをデザインする、連携して宣伝する、勉強会をする、資金を獲得する、などがあげられました。

第5回をちょっと紹介

グループディスカッションの概要

「まちで楽しむ5」では、大学生と市民が小平でやりたいことをテーマに話し合いました。「緑のレンタサイクル」「畑でピクニック」等の具体的提案が生まれ、学生や大学との連携の可能性を知る貴重な機会となりました。



こんな活動もしています

まちで楽しむPR動画

「まちで楽しむ4」の実行委員会学生有志が、「まちで楽しむ」の魅力をもっとPRする動画を制作しました。武蔵野美術大学の学生が制作したアニメに津田塾大学放送研究会の学生が声をあてるなど、大学の枠を超えた楽しい動画になっています。Facebook・Twitter・YouTubeにて、予告編を含めた全9本を公開中です。是非、「まちで楽しむPR動画」で検索してみてください。



Facebook <http://www.facebook.com/enjoykodairacity/>

Twitter <https://twitter.com/enjoykodaira>

YouTube <https://www.youtube.com/channel/UCCe046MDg4cPcWHb4DduaXw>

「まちで楽しむ6」 参加学生団体

イベントに参加した学生団体の一覧です。特色のある様々な団体が数多く参加し賑わいました。

※今回掲載している情報は、当日のパンフレットに載せたものを再録しています。

文化学園大学 栗山ゼミ

こだいら観光 まちづくり協会 × 文化学園大学

小平産の野菜・くだものを使ったお土産商品開発プロジェクト

こだいら観光まちづくり協会と栗山ゼミの学生が連携して、小平産の野菜やくだものを使ったお土産商品の企画づくりにチャレンジしました。プレゼンでは5つのグループが提案した商品企画を紹介します。



武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 3年空間構成III けやきチーム

障がい者週間 についての プロジェクト

知的障がいを持った人と繋がる。私たちけやきチームは、けやき青年教室でのワークショップを始め、障がい者週間に行われる異才たちのアート展・障がい者作品展・みんなで作る音楽祭に携わらせていただきました。



白梅学園大学 白梅子育て広場

白梅子育て広場 について

こんにちは。白梅子育て広場です。私たちは、小平西地区を拠点に活動している子育て支援団体です。地域に開けた企画を開催することによって、安心して遊べる場を作り、子育てしやすい地域をめざして活動しています。



武蔵野美術大学 芸術祭執行部 企画部

2018 芸術祭執行部 企画部の活動

私たちは、毎年10月に武蔵野美術大学で行われる芸術祭を実行・運営する芸術祭執行部です。その中の企画部という部署で、子供向けのおもちゃを作るワークショップや芸術祭のステージショー、スタンブラリーやライブペインティングなどの企画・運営を行っています。



職業能力開発総合大学校 ロボット部

小学生向け ライトレース ロボット 制作教室

私たち職業大ロボット部は、小学生にもつくりの楽しさを知ってもらい、またロボットや技術に対する興味を持ってもらえるように、小学生を対象としたライトレースロボットの制作教室を開催しました。

武蔵野美術大学 芸術文化学科 小平アートプロジェクト

「ジュニア大学」 「発見!こだいら」 の活動について

小平市中央公民館、小平市文化振興財団、武蔵野美術大学芸術文化学科による小平アートプロジェクト。アートを通して小平の魅力を発見することを目標に、学生が主体となりワークショップや展示を行いました。

白梅学園大学 福島復興支援ツアー 2017

わたしが 見た福島

この発表は個人の感想である。昨年2月私は白梅学園大学のゼミ中心で開催された福島復興支援ツアーに参加したが、その経験は非常に不思議なものだった。そこで見、感じたことを自分なりの言葉にして、一つの発表にする。

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 3年空間構成III 図書館チーム

小平市の図書館 ブランディング

私たちは、小平市の図書館ブランディングの一環として、フクロウのキャラクター作りに取り組みました。また、子供を対象に、図書館により親しみを持ってもらえるようなワークショップを開催しました。

武蔵野美術大学有志

～まほうのくに へようこそ!～ キラキラ☆ マジカル カプセル

“まほうつかいみならい”になり、魔法道具をつくるワークショップです。最後には“わるいまほうつかい”を倒し、“いちにんまへのまほうつかい”になります!ガチャガチャのカプセルや、ビーズ、ボタンなど“キラキラ”の材料を使って魔法道具を作りました。

嘉悦大学 イベント執行部

イベント執行部 活動報告会

嘉悦大学でのイベント執行部の活動を、スライドを使ってプレゼンします。大学での季節ごとのイベントや、学園祭の実行委員などの幅広い活動内容を、分かりやすく説明したいと思います。

津田塾大学 フェアトレード推進団体 Chicas Unidas

Chicas Unidas の活動

ペルーの貧困地域の女性が作る、アルパカニット製品の販売を通して、生活支援を行っています。まちちょこプロジェクトでは、限定パッケージのフェアトレードチョコを販売し、小平市でフェアトレード認知活動をしています。

みんなでつくる音楽祭 in 小平

みんなでつくる 音楽祭 in 小平 での活動報告

みんなでつくる音楽祭 in 小平は、音楽のジャンルも、世代も、障害の有無も、すべてボーダレスな手作りの音楽祭です。私は第1回目から実行委員をしており、今年で5回目になります。そこでの活動を報告します。

武蔵野美術大学 造形教育研究会 アトリエちびくろ

2017年度 活動紹介

小平の小学生100人と個性豊かな学生が、作って遊ぶ武蔵野美術大学公認サークルです。月に一回大学で活動をし、芸術祭ではパレードをします。また、夏春の長期休暇には茨城で約1週間の図工教室を行います。

武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 上宿小×ムサビ キャラクター製作委員会

みんなに 愛される、 を作る

上宿小のマスコットキャラクターを、私たちムサビ生と上宿小の児童が協力して決めて行きました。「みんなが愛着を持つキャラクターに必要なものって、ってなんだろう?」をご紹介します。